

青少年交流プラザ（本館・分館）の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：子ども青少年局>

指定管理者	トヨタエンタプライズ・ShoPro共同事業体		
主な業務内容	名古屋市青少年交流プラザの管理運営業務を適正かつ円滑に実施すること。		
評価対象期間	令和6年4月～令和7年3月	指定期間	令和5年4月～令和10年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	PCの情報管理やウィルス対策は会社全体として取り組み、危険性のあるメールを開かないように訓練も定期的に行っている。
	(2) 開館の実績	供用日・供用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	◎	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	清掃員だけでなく、開館時間前に職員全員で清掃を行い、清潔を保っている。
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	◎	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
	(5) 衛生管理（分館のみ）	施設を衛生的に管理しているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	利用者数の向上のために積極的に取り組んでいるか。	◎	利用票に記載があった意見に対して、できるだけその場で利用者に確認し、迅速に対応している。
	(2) 利用案内・窓口対応	利用者にわかりやすい施設案内の工夫がされているか。	◎	
	(3) 接客態度	接客態度、服装等は適切か。	○	
	(4) 広報・PRの実施	広報・PRは適切に行われているか。	○	
	(5) 利用者満足度	満足度調査を実施し、サービス向上に努めているか。	○	
	(6) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見や苦情について迅速に対応できているか。	◎	
4 事業	(1) 事業計画	目的や長期的な視点をもった事業計画を立てているか。	○	新たに、生涯学習センターを会場とした「旅するボードゲームカフェ」事業など、アウトリーチ型事業を積極的に実施し、事業全体で、参加者数が昨年度と比べ大幅に増加している。
	(2) 事業参加実績	事業参加者数増に向けて積極的に取り組んでいるか。	○	
	(3) 人につながる支援事業	青少年が他者との関わりの中で受け止められ、安心して過ごすことができ、自立できるよう支援する事業が適切に実施されているか。	○	
	(4) 地域・まちにつながる支援事業	青少年が地域やまちに接点を持ち、地域やまちの取り組みに参加できるよう支援する事業が適切に実施されているか。	○	
	(5) 地域・まちに働きかける支援事業	青少年が主体的に参画したり、地域やまちに対する意見を表明したりできるよう支援する事業が適切に実施されているか。	○	
	(6) 各種団体・施設等との連携	児童館を始め各種施設や各種団体等と連携した事業展開が適切に図られているか。	○	
5 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 使用料	適正に収受・管理されているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
安定した施設運営が行われており、利用者満足度調査においても9割を超える利用者から高評価を得ている。分館については宿泊室の利用率向上が課題ではあるが、宿直や営繕担当も含めて職員全員で改善策を考え、実行しようとする姿勢は評価できる。本館分館ともに引き続き利用者の意見を聞きながら、利用率向上のため積極的に取り組んでいただきたい。 事業面について、総合支援プログラムにおける1層目及び2層目の事業は参加者数にも表れているとおり、充実が図られている。3層目については常に意識するよう職員間で共有しながら事業展開を行っており、今後の3層目事業の企画・運営に期待したい。

施設の現状

青少年交流プラザ(本館・分館)

施設の現状	施設概要							
	【共通】社会性および主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を目的とする施設であり、青少年の社会との関わり方の度合いに応じて育成する総合的な支援プログラムに基づき、青少年の自立支援や社会参加・参画活動を促進する取組みを実施するほか、青少年が気軽に立ち寄れるオープンスペースもあります。また、青少年交流プラザを本館、青少年宿泊センターを分館として位置づけ、両施設の特徴を活かしながら、青少年の自立に向けた支援や、社会参加・参画活動の促進を一体的に行っています。							
	【本館】活動の拠点となるプレイルームや音楽スタジオ(2室)、活動室(6室)、ミーティングルーム(2室)の提供などを行っています。							
	【分館】主に青少年団体を対象に宿泊室(15室)、体育室、活動室その他の研修室を提供しています。							
	市の収支状況(千円) (6年度決算(見込)額)							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
181,573	13,418	194,991	19,955	2,840	172,196	194,991		
特記事項								
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	社会参加参画に関わる事業参加者数	人	3,515	6,036	5,253	7,939		
	プレイルーム・研修室等利用者数	人	45,189	105,853	127,619	127,722		
	宿泊利用者数	人	1,630	3,454	7,322	7,517		
	オープンスペース利用者数	人	10,256	48,767	70,520	101,138		
	特記事項							
	令和3年4月から12月までの期間は天井脱落対策工事のため、本館は休館している。 令和5年度から分館におけるオープンスペース利用者数(自由来館者数)の集計開始。令和5年度は実数、令和6年度は集計方法を変更し本館に合わせ、1時間毎の延べ数となっている。 令和7年1月から2月までの期間は受変電設備等更新工事のため、分館は休館している。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載